

對にいけません。又評議會の諸君に申し上げますの中に「評議會は暴力で給料の奪取をするのか、脅迫又は暴行或は傷害又は人の行為によつて此の目的を達するのや、如何ですか」と言つた會社や社長を見よ！天野社長の息の天野辰夫と男は東京から暴力團數十名を引率してやつて來ましたが、公正なる御判断を乞ふ」の大ビラを撒布した五日の午後には、車數に分乗せしめビラを配布して後車上で短刀をふりかざして演説をせよ一方大ダンビラの抜き身をふりかざして争議を切つてつし演説をはじめたのであります。そして盛んに高きを連呼して騒いだのであります。社長は之を工場からノゾけてゐた時あつたさうであります。此等は、武器を持たない争議を強迫脅嚇するためのものであり、傷害又は殺人の行為によつて其の目的を達せんとする。社長並に會社の手先なのであります。しかも急ぐりの日本主義労働同志會の假事務所を作つて争議團の側に扣て喧嘩を賣りかけるに至つては唯驚く外はありません。こんなゴロツキを一日四圓以上の日當を與へて使つてゐるのださうです。憎むべきは天野一族であり排斥すべき毛虫の如き人間とは彼等の事を云つて誰れをさう呼ぶことが出来ませうか。かゝる破廉恥漢ゴロツキとは争議團は武器こそありませんが無力でも團結の力によつて市民諸君と共に戦ふ決心であります。

はくば市民諸君、我々に助力するにその努力を惜まざること。事の序に申し上げますれば労働同志會の美名の下に争議を應援するのたゞだまされて引ばつてこられた純潔な人道の士はかかる詐欺に憤然色をなして歸郷しましたものもある位でありまして社長並に會社の言ふ所の「鬼」とは此等の暴力團の張でなかつたでありませうか、かく觀察しますれば彼のビラに書かれた「自分の根性で人の心を付度し易いものですから」かの醜き社長の心狀行為にこそあまりに適確にあてはまることに驚かされます。彼は名言を吐いた、それと同時に自分自身正体が桃太郎ではなくて鬼であることを、暴露してつたことは社長のためには不幸なことでありませう。大江山の鬼は昔女

**最後の點** 以上申し上げました事によりまして、濱松の地を去るべきは「評議會の諸君」ではなくして天野社長一味の人非人でありませう。従つて「評議會の諸君」は、彼の投つた讒侮追放の言葉をもその正當なる所有者に投返して、その勞を謝するであります。天野社長一族よ！「あやう濱松をナメて圖に乗つて居ると鬼征伐をやつた桃太郎の子孫が簇々と飛び出してきますぞ！」

**要明なる** 濱松の市民諸君よ！濱松の全労働者諸君よ！我々は他くまでもかゝる社長並に暴虐と堂々戦つたりでありませう。私共争議團の結束はますます固く、會社は今や狼狽狂奔して居ます。見よ！彼等は厚顔にもあられない事實造捏をし、市民諸君を迷はさんとしてゐます。然し市民諸君よ、我々争議團を信ぜられて、能ふ限りの同情と援助を以て、我々の後援者たられ、天地許さぬ暴虐なる天野社長等組織の聖戦に参加されます様、幾重にもお願いし、併せて、我々の態度の公明正大を宣明する次第であります。

**樂器會社並に天野社長等を糺弾せよ!!!**  
**市民大會を開いて争議團を應援せよ!!!**

大正十五年五月七日

**日本樂器争議團一同**